ヤング輝く！ワーカー

株式会社 YOSHIOKA
肉用牛生産・肥育豚・ブロイラー農家　就農 13 年目

吉岡（よしおか） 将人（しょうと） さん

牛も豚も鶏も、一頭一羽を大切にしっかり育てていきたい

牛・豚・鶏の飼養に挑戦！経験を生かし、さらなる規模拡大へ

大隅町月野で肉用牛の生産、肥育豚、ブロイラーを飼養する株式会社YOSHIOKAの吉岡将人さん。現在、親牛80頭、豚500頭、ブロイラー3万羽を飼養しています。妻と両親の4人で力を合わせながら、日々の営農に取り組んでいます。

■就農した経緯は？

高校卒業後、鹿児島市内の美容師専門学校に進学し、美容師として5年間働いていました。もともとは畜産農家になろうと考えていたわけではありませんでしたが、さまざまな経験をするなかで、農家として頑張りたいと思うようになりました。小さい頃から祖父母や両親が働く姿を見て育ったことや、動物が好きだったことも、就農を決意した理由の一つです。まずは経験を積むために、そお鹿児島農協の肥育センターや都城市の養豚会社に勤務しました。その後、平成28年に就農しました。

■なぜ牛・豚・鶏の3畜種を飼養しているのですか？

牛・豚は祖父母の代から飼養してきました。ブロイラーを始めたきっかけは、新型コロナウイルスの影響で牛を取り巻く経営環境が変化したことに加え、たまたま市内に空いている鶏舎があったことです。畜種によって温度や湿度の管理方法は異なりますが、それぞれの飼養管理で得た知識や経験を、ほかの畜種にも生かせることがあります。また牛・豚・鶏それぞれの仲間が増え、アドバイスをもらえることも複数の畜種を飼養する強みです。

■気をつけていることは

動物は言葉を話せないので、体調に異変がないか、常に気を配っています。さまざまな作業をしながらでも、よく観察することを心掛けています。感覚的な部分もありますが、人間の子どもが体調を崩したときに「いつもと様子が違うな」と感じるのと同じように、動物のちょっとした変化に気付くことが大切だと考えています。

■やりがいや大変なことは？

出荷時に目標としていた理想の状態に仕上がり、出荷の目安となる目標値を達成できたときに、大きなやりがいを感じます。一方で台風や大雨などの悪天候でも日々の飼養管理が欠かせません。また近年は飼料価格の高騰も課題です。飼料を確保するために畑を増やすほか、餌の給与量をきちんと計測して与えることで、無駄を減らしコストの削減にも取り組んでいます。

■今後の目標は？

今後は、牛・豚・鶏それぞれの畜産仲間とのつながりを大切にしながら、さらなる規模拡大を目指しています。

11月のある日のスケジュール

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
行動	睡眠					起床	鶏舎管理		朝食	牛舎・豚舎管理		鶏舎巡回	昼食・休憩	牛舎 豚舎管理 鶏舎						夕食・休憩		畜舎巡回	自由時間		睡眠